

京都大学大学院工学研究科
社会基盤工学専攻修士論文
令和 8 年 2 月



Master's Thesis
Department of Civil and Earth Resources Engineering
Graduate School of Engineering
Kyoto University
February 2025

LaTeX による修士論文作成フォーマット

京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻

アイドル講座 バーチャル音響学分野

星街 すいせい

論文要旨

ここから要旨を書き始めます。「論文要旨」はセンタリングされます。

段落を変える際にはこのように空行を一行入れます。「彗星のごとく現れたスターの原石！ バーチャルアイドルの星街すいせいでーす！」「彗星のごとく現れたスターの原石！ バーチャルアイドルの星街すいせいでーす！」「彗星のごとく現れたスターの原石！ バーチャルアイドルの星街すいせいでーす！」「彗星のごとく現れたスターの原石！ バーチャルアイドルの星街すいせいでーす！」「彗星のごとく現れたスターの原石！ バーチャルアイドルの星街すいせいでーす！」このテンプレートで推し活も捗ること間違いなし！ 推しのライブ配信が始まったら、とりあえずコンパイルボタンを押してから楽しみましょう。このようにすれば段落は変わりません。

目次

第1章 はじめに

この L^AT_EX フォーマットは，京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻・都市社会工学専攻の修士論文を執筆するための基本的な機能付きのテキストファイルです．とりあえず，2024 年度の修士論文フォーマットには対応しています．

使用する L^AT_EX コンパイラは LuaLaTeX 環境を想定しています．pLaTeX 環境等をお使いの方は，適宜プリアンプルの修正を行ってください．

また，本フォーマットにはデバッグモードを実装しています．出力される pdf がブラック背景に白文字になるので，目の疲れを低減することができます．`submissionmode` の 1 を 0 に変更すればデバッグモードになります．

1.1 新しい節

節は `section` コマンドで入れます．

1.1.1 新しい項

項は `subsection` コマンドを用います．

第2章 論文の執筆

2.1 図の挿入



図 2-1: コンピューターの得意な男の子

[H] を使うと.tex の入力通りの場所に float を配置できますが、文書が崩れる可能性があります。基本的には [p] または [t] を用いるのがおすすめです。このサンプルでは文章量の都合上 [H] 指定しています。そのほかの設定や subfigure の環境については調べてみてください。

2.2 表の挿入

表 2-1: 星街すいせいのプロフィール^{?)}

項目	内容
誕生日	3 月 22 日
デビュー日	2018 年 3 月 22 日
身長	160 cm
ユニット	ホロライブ 0 期生
メイク担当	手島 nari
ファンネーム	星詠み
配信タグ	#ほしまちすたじお
ファンアートタグ	#ほしまちぎゃらりー

このように表を挿入することができます。なぜか [H] を指定すると行間が大きくなってしまったので 0.8 を指定しましたが、[t] なら 1.8 程度でいいと思います。

2.3 数式の挿入

数式は文中への挿入または equation 環境での挿入の二種類に分かれます。文中に挿入する際は、 $L = 4\pi R^2 \sigma T^4$ このように追加します。

独立表示させるには、

$$r = \frac{a(1 - e^2)}{1 + e \cos \theta} \quad (2.1)$$

このように書きます。

2.4 引用・参照

表??において引用を行いました。引用は cite コマンドを用いています。また、表や図、数式の参照を行う際は ref 系のコマンドで行います。

引用については、thebibliography 環境を用いています。自分が執筆した際は手動入力を行いました。bibtex 環境を用いてもいいと思いますが、コンパイルの手順や必要 package についてはご確認ください。

2.5 その他

SI 単位系には SI コマンドを用いています。10 m/s 等入力して、SI 単位系付きの数値を適切に入力できます。

謝辞

ここから謝辞が入ります。（基本的に主査の教授→副査の教授→副査の准教授の先生の順，その後にお世話になった先生や技術職員の方，他の学生等について言及する）もちろん，推しアイドルの活躍を拝みながら書き上げたこともここに深く感謝申し上げます。

参考文献

- 1) 星街すいせい, ホロライブ公式サイト, <https://hololive.hololivepro.com/talents/hoshimachi-susei/>,
(参照, 2025-2-19) .